

英語プレゼン 全国の頂点に

崇城大3人の栄誉たたえる

英語のプレゼンテーションの力を競う全国大会で、最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞した崇城大（熊本市西区）の学生3人が、同大が新設した学生栄誉賞に輝いた。

受賞したのは、大学院工学研究科修士1年の古賀^{あおい}さん(23)、生物生命学部4年の後藤みどりさん(22)、工学部3年のチャン・ティ・ジウ・ヒエンさん(24)＝ベトナム出身。

昨年末、都内であった「全国学生英語プレゼンテーショ

ンコンテスト」（神田外語グループなど主催）に出場。東京大や東京外語大などの「強豪」を抑え、127校641人の頂点に立った。

3人は農作物の成長を促す光合成細菌を、焼酎かすを使って培養させる環境保全策を発表。古賀さんと後藤さんが、学生起業家の輩出を目指す同大の部活動「起業部」で研究を続けてきた。

3人は英語力強化のため同大の英語学習施設を活用。欧米出身の講師から指導を受



学生栄誉賞を受賞し、笑顔を見せる(左から)後藤みどりさん、チャン・ティ・ジウ・ヒエンさん、古賀碧さん＝熊本市西区

け、身ぶりなどでの表現力を磨き、分かりやすい単語を使うなど工夫を重ねた。

2日の栄誉賞表彰式で、文化勲章受章者の彫刻家・中村晋也名誉学長が手掛けたオブ

ジェも贈られた3人。「大学からも評価され、自信になった」「今後も研究を怠らず、社会貢献したい」などと語った。

(臼杵大介)